

紫波ネット

人と地域をつなぐ広報紙

紫波ネット951号

平成29年1月11日発行 | 岩手県 紫波町

〒028-3392 紫波町紫波中央駅前二丁目3-1

編集・印刷 川嶋印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>



SHIWA-NET



幸せで実りある新年を願って
赤沢公民館で門松作り

赤沢公民館(工藤睦夫館長)で12月26日、門松作りが行われました。町内外から25人が参加。講師の工藤敏雄さんから作り方を教わりながら、町産のわら、松、竹、梅、南天などを使って、門松を完成させました。盛岡市から参加した大学3年生の寺井翔啓さんは「門松は大学の研究室に置きたいと思います。大学の友人たちと一緒に、もっと大きな門松を作りたいです」と初めての門松作りを楽しんだ様子でした。

1

特集

新春座談会

紫波での子育て・子育てを考える04

新春町長メッセージ 02

豊かな公が息づくまち・スポットニュース 11

新しい民生児童委員の皆さんを紹介します 12

第2回「紫波町図書館調べる学習コンクール」入賞者 19

健やかランド紫波 20

行ってみよう めぐって学んで五感で味わう紫波探訪 24

No.951 2017

春長 新町 メッセージ

豊かな未来に向けて 発展し続ける町を目指して

明けましておめでとうございます。
平成29年の新年を迎え、
謹んでお祝い申し上げます。

県選手団が活躍した 希望郷いわて国体・いわて大会

昨年は、希望郷いわて国体・いわて大会
が開催され、県選手団は天皇杯・皇后杯と
もに第2位という素晴らしい成績を残し
ました。東日本大震災が発生した際には、
一時開催が危ぶまれたこともあり、感慨
深いものがあります。

当町では、自転車競技の熱戦が5日間
にわたって繰り広げられました。町出身選
手の活躍もあり、県選手団は総合成績第
6位と健闘しました。皆さんのご協力を
いただきながら、数年がかりでおもてなし

などの準備をしてきたこともあり、非常
に盛り上がった大会となりました。期間
中、約1万9000人の方々にご来場いた
だき、他県から来場した人が「観戦者が多
くて驚いた」と話しているのを耳にしまし
た。国体は終わりましたが、今後も紫波自
転車競技場やロードレースの拠点施設と
して整備した佐比内サイクルパーク「金輪
の丘」の一層の活用を図ってまいります。

平成31年には金石市でラグビーワール
ドカップの開催が予定され、準備が進めら
れています。また、平成32年には東京オリ
ンピックが開催されます。町がこれらの大
会の会場となることはありませんが、事
前キャンプや練習場として利用される可
能性は大きいと考えます。さまざまな
機会を捉えて、町にある施設の活用をア
ピールしてまいります。



新春座談会(P4)の参加者たちと一緒に、しゅっせで撮影

進化を続ける オガールプロジェクト

現在も、全国から多くの方々がおがールプロジェクトの視察に訪れています。昨年12月には役場の会議室などを会場に、内閣官房人事局による「平成28年度幹部候補育成過程中央研修」が開催され、各省庁から選ばれた課長補佐級の職員18人が来町しました。このような機会は、町職員にとっても良い刺激になったと考えます。

オガール地区のD街区(役場庁舎南側の区画)では昨年11月、官民複合施設「オガールセンター」が竣工しました。小児科クリニックと病児保育施設、アウトドアシヨップやトレーニングジムなどが順次開業予定です。2階には、町が「紫波町子どもセンター」を設置し、4月から業務を開始します。この施設は「子どもの育ち相談室」「幼児ことばの教室」「適応支援教室」「はばたき」の3つの機能を持ち、子どもの育ちを支援することを目的としています。

また、同じD街区には民設民営で定員150人の「オガール保育園」が開園します。このエリアを子育て支援エリアとして展開していきます。

さらには公民連携事業の一環として、引き続き口詰地区のリノベーションまちづくりにも並行して取り組んでまいります。

役場旧庁舎については、現在はその跡地利用の在り方について検討を行っているところです。

町の豊かな魅力を 発信していきます

紫波インターチェンジ周辺の農地を他用途の事業に使用できるように法的整備がようやく整います。これを機に、積極的な企業誘致に取り組み、産業の振興を図ってまいります。

また、県はI-LC(国際リニアコライダ)誘致に積極的に取り組んでいます。これは将来への大きな夢であり、当町の子どもたちからもこの事業に携わる人材が輩出されることを期待しています。町の豊富な食材や文化、スポーツは外国の研究者にとっても魅力あるものと考えますので、これらの情報について今後も広く発信してまいります。

結びに、皆さまの本年のご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

紫波町長 熊谷 泉



紫波での子育て・ 子育てを考える

特集・新春
座談会

～子どもたちが健やかに育つ魅力ある町であるために～

町は、平成28年に策定した「紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で「子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる」ことを基本目標として掲げています。妊娠期からの切れ目のない子育て支援を目指し、関係機関との連携を図りながら、さまざまな取り組みを進めているところです。

平成29年度には「オガール保育園」の開園や「紫波町こどもセンター」の開所が予定されており、子育て・教育環境のより一層の充実が期待されています。

特集では、「紫波での子育て・子育てを考える」をテーマに、子育て世代や子育て支援・教育に携わる皆さんから、子どもたちの健やかな育ちのために考えていることなどについてお話を伺いました。



■紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (平成27～31年度)

紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略とは、人口減少問題の克服と稼ぐ力の確保のために町が策定したものです。「紫波町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめています。

■つながる子育てプロジェクト ～現代版三つ子の魂百まで～

紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる8つの連携プロジェクトのうちの一つです。

家庭環境などによって成育が妨げられることなく、自立心や社会性などの「生きる力」を身に付けながら成長できるように、妊娠・出産期から幼児期・学齢期まで連携した対策を行っていきます。

〈主な取り組み〉妊産婦の健康管理／産後の育児支援／保育所・認定こども園などの保育環境整備／学童保育の環境整備(こどもの家・児童クラブ)／子育て応援センター運営／子育てボランティアの活動支援／少子化時代における教育環境づくり／教育振興運動／幼児教室や専門機関での養育指導・助言／保育所の軽度障害児受け入れ／特別支援教育の充実／障害児放課後デイサービスの利用支援／要保護児童相談・虐待防止／貧困状態にある子どもへの支援

会談者 参加者



高橋久祐さん
(上平沢)



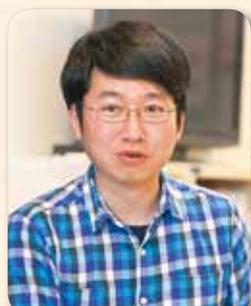
川村真奈美さん
(片寄)



小原佳代子さん
(矢巾町)



熊谷泉町長



高橋拓朗さん
(佐比内)



高橋望さん
(佐比内)



樋澤順也さん
(長岡)



阿部瑠美さん
(長岡)



鈴木みゆきさん
(赤石)

●開催日時 12月4日(日) 午前10時30分～午後0時30分 ●会場 子育て応援センター「しわっせ」内 学童ルーム

暮らして分かる 町の魅力・難点

○紫波ネット(以下司会) 自己紹介とこの町の魅力を一つ教えてください。

●小原さん 私だけ矢巾町からの参加ですが、町内のあつま幼稚園に勤めています。子育て中で4歳の男女の双子がいます。

紫波町の魅力は、おいしい食べ物がいっぱいあるところです。幼稚園に生産者のお子さんが通っていますが「自分のおうちで作っているもの、おいしいよー」と話していて、子どもも誇れるようなものがある町なのだなと思います。

●川村さん 片寄地区でNPO法人を立ち上げ、指定管理者としてこどもの家(※1)を運営しています。NPO法人の代表ではありませんが、子どもたちを見

ながら一緒に遊んだり、指導したりしています。私自身には高校生の子どもが2人、小学5年生の子どもが1人います。

私は生まれも育ちも片寄地区で、長く住んでいます。町の魅力といえば、人のつながりが強いところです。昨年私の地区では、年配の方々が先に立って餅まきや焼き肉などの交流の場をつくってくれました。盛岡市や花巻市への交通の便もよく、オガールもできておしゃれな街になった気がします。住みやすく、人の温かさを感じる町だなと思います。

●高橋(久)さん 上平沢地区に住んでいます。盛岡広域森林組合に勤めています。盛岡市の指定管理を受けて、盛岡市外山森林公園の運営をしています。私は公園業務全般を行っています。毎日、森林学習を専門に担当しています。毎日、盛岡市数川まで通っていて、キャンプ期間は宿泊当番もあるため、自宅には寝に帰るだけになっています。小学1年生の息子が1人います。

私が小学生の頃と違い、外を歩いても子どもたちを見かける機会がほとんどなく、「どこで何をして遊んでるの?」「どこで遊んでいます。子どもたちがのびのびと野外で遊べる環境ができたなら、もっと魅力ある町になるのではないかと考えます。

●鈴木さん 今年の4月から、赤石公民館の施設管理補助員として働いていま

※1 こどもの家(放課後児童クラブ)

こどもの家(放課後児童クラブ)は、放課後や長期休業期間(夏休み・冬休み・春休み)に、就労などの理由で日中に保護者が家にいない小学生を対象に、保護者に代わって児童の遊びや生活を支援する施設です。

日中に保護者が家にいない、おおむね小学校1年生から3年生までが対象です。やむを得ない事情があると判断された4年生以上も対象となります。

す。また、昨年から「チームあかいし」という会ができ、赤石小学校、赤石地区の子どもたちと防災キャンプを2回行いました。私自身には、小学校5年生と1年生の子どもがいます。

私は赤石地区で生まれ育ち、町から離れている時期もありましたが、また地元に戻ってきて、自分にとって「ちやうどいつのんびり感があり、交通の便もいいので街にもすぐ行けるところがいいな」と思います。

●阿部さん 長岡地区に住んでいます。子どもは3人いて、1歳9カ月と4歳と6歳です。4歳の息子がすごく自由でわんぱくです。仕事もしたいなと思っていますが、地区にある児童館は3歳にならないと入れないので、下の子が3歳になるまでは家で見ていようかなと思っています。

町には、子どもが参加できるお祭りや産直がたくさんあり、そんなにお金をかけず、遠くに行かなくても町内で楽しめる。そういうところが魅力だなと感じます。

●樋澤さん 長岡地区に住んでいて、盛岡市で介護の仕事をしています。3歳の息子、1歳の娘がいます。休みの日は「わっせ」※こねこねで子どもたちを遊ばせています。

町の魅力はたくさんありますが、人の

温かさやオガールなどの施設、産直が**いっぱいある**ところも魅力の一つかなと思います。

●高橋(望)さん 佐比内地区に住んでいます。仕事は農業をしています。佐比内地区で生まれ育って、一度東京に出て8年間ほど暮らして、平成21年にウターンで町に戻ってきました。

町内で1年間ほど農業研修をしてから就農しました。現在は私の母、祖母、今日一緒に参加している主人と私、1歳3カ月の子どもも一緒に畑に連れ出して働いています。子どもも動くようになってきたので、来年の忙しい時期には一時保育を利用し、農閑期は家について見ようかなと思っています。

ウターンしてきたので、都会から帰ってきてみると、**町の産直や食に対してよく魅力を感じます**。県央部なので、花巻市や盛岡市、北上市へのアクセスも良く、環境はいいかなと感じます。

●高橋(拓)さん 出身は北上市で、佐比内地区に住んでいます。平成26年から紫波町民になりました。自動車関連の仕事をしています。北上市は工業都市のイメージが強いのですが、町は食や農業に力を入れていて、**食という面では恵まれている**と感じています。

○司会 町長には、ご自身の子ども時代の記憶をさかのぼりながら、町の魅力を

お話いただきたいです。

●熊谷町長 片寄地区で生まれ育ったので、片寄地区の風景が好きです。町には米、畜産から野菜、果物まで、何でもあることが一つの売りでもあり、住んでいる人が楽しめる部分だなと思います。

子育てに関して言うと、**街の暮らしやすさと田舎の良さが混在している**と感じます。**子どもたちにとって一番良いのは、町の自然そのもの。気温の変化や風など、四季の移り変わりが皮膚感覚として身に付いている**と思います。都会のマンションなどに住んでいる子どもたちとは、皮膚感覚が全く違う子どもが育っているのではないかと思いい、そこは町の良さだと思います。

子育て・子育てで大切にしていること、感じていること

○司会 ご自身が子育てしてきたことを踏まえて、普段感じていることや、大切にしていることを教えてください。

●小原さん あづま幼稚園では満3歳児から就学前の5歳児までをお預かりしています。運動会やクリスマスお遊戯会などのさまざまな行事を経験しながら、健やかな子どもたちの成長を、何かを「教える」というよりは、「支えている」という方が大きいような気がします。



遊びをとおして自分の好きなことを高め、お友達と刺激し合ったり、協力し合ったりすることを大切にしながら日々子どもたちに接しています。

自分の子どもを思うと「...ができない」とか「この時期にできるようにならなきゃ」とか、できない方に目がうつてしまいます。しかし、できるだけそうではなくて、その子の**得意な面やいい面を拾い上げて、得意なことや自信を持てるようになってほしい**なと思っています。

●川村さん 元々専業主婦だったので、片寄地区に子どもの家がないというところで、お母さんたちに声が掛かりま



座談会の会場

※2 子育て応援センター「しわっせ」

子育て応援センター「しわっせ」はオガールプラザ内東棟2階にあります。就学前の子どもとその家族が利用できる「ひろば」の開設や町在住の満1歳～就学前の子どもを対象にした一時預かり保育(事前登録・面接と予約が必要。有料)、各地区公民館を会場とした「出前ひろば」などを行っています。この他、おたのしみ会(毎月1回開催)や手作り玩具や食育に関する育児講座を開催し、随時子育てに関する相談にも応じています。

■開所日時 月～土曜日 午前9時～午後4時
(祝日・年末年始を除く)

■問合せ 子育て応援センター「しわっせ」 ☎671-2200

しわっせには多くの親子が集まり、交流を深めています

した。始めは小学校を借りて夏休みだけ子どもの預かりを始めました。スタートは平成21年でした。

自然はたくさんあるもの、子どもたちが遊ぶ場所無く、人数も少ないので、みんなで一緒に遊ぶことも少ないのが現状ではないかと思えます。

●高橋(久)さん 以前から、小学生を対象に森林学習を行っていました。しかし、息子が生まれてから「森のようちえん」のような活動を行いたいという気持ちが芽生え、葛巻町や県外の「森のようちえん」活動の視察をした中で、「未就学時期に全身で感じる体験が大切」と言われました。大人が何かを教えるのではなく、一人一人がそれぞれ感じたことを大切にその教育が必要とされているそうです。その中でも、**五感発達に散歩が良いといわれていることを実証しよう**と思ひ、息子が3歳のころから、毎朝一緒に1時間くらい散歩をし始めました。保育園の年長のころからは、天気が良い朝に自転車で35〜40分ほどかけて、上平沢地区をまわっています。散歩中や朝食を食べているときに、散歩の最中の出来事を興奮気味に話している姿をほほ笑ましく感じています。

●鈴木さん 自分が子どものころは、学校の帰りに寄り道をするのが当たり前でした。親も心配していたとは思いま

すが、通学路ではないところを帰ってきたり、近くの田んぼでサッカーをしたりしていました。今は遊ぶ場所が本当に少ないなと感じます。通学路ではない道を帰ってくると、やっぱり親の方が心配で「寄り道しないで帰って来なさい」と言ってしまう。

所属している「チームあかいし」は、「赤石小学校おやじの会のメンバーや子育て支援ひろばに関わる人など、地域の方々と、子どもの育ち(子育て)について話している中で「子どものことについて考える機会を持ちたいね」というところから始まりました。メンバーは6人で、主に赤石地区の小学生を対象に活動しています。

●阿部さん 私には小さい子どもが3人いて、仕事はしていないのですが、子どもの時間に合わせながら家事などを行うとなると、一日の時間配分をすごく考えます。子どものお昼寝のタイミングも違うので、一日が終わるのがあっという間です。

長岡地区には仕事をしながら子育てをしているお母さんもいますが、子どもの家がありません。長岡地区にも子どもを見てくれるところがあればいいなと思います。**仕事をしながら子どもを育てることのできる環境があればいいですね。**

自由に利用できる「しわっせ」、 自然の中での遊び

○司会 せっかく「しわっせ」でお話をしているので、町長に「しわっせ」がどういう位置づけで運営されているのかを教えてくださいたいです。

●熊谷町長 「しわっせ」はいろいろな制限が無く自由に利用できるように、と設定した場所です。町内外関係なく、さまざまな人が利用しているのではないかと思います。子どもたちの発想で組み立てて遊べるような遊具もそろっています。

先ほど、「森のようちえん」の話が出ましたが、人工的なものではなく、本当に自然の森でないと子どもたちに訴えるものがないと思います。町には自然の山があるのですが、いろいろな体験をさせることができ、本当の意味の「森のようちえん」になるのではないかと考えています。

●樋澤さん 町長がおっしゃったように、町には自然が多いですし、農業も盛んなので、うちの子どもたちにもいろいろな体験をさせています。季節感や四季を大切にできる子どもになってほしいなと思います。

●高橋(久)さん 現在、他の地域で行われている「森のようちえん」には、イベント型や常時預かり型、短期的に夏休み

とか冬休みなどの期間限定で行うなど、さまざまなパターンがあります。

「森のようちえん」は、子どもたちに自然を感じてもらおうような仕組みの預かりを基本にしています。自分たちで切り株を持ってきて椅子にするというやり方のところもありますし、キャンプ用ブーカーでキッチンスタッフになってご飯を提供するというやり方もあります。

町には農産品がさまざまあるので、複合的に考えていくと紫波町らしい「森のようちえん」をつくることができるとはなないかと思っています。

子どもたちにどんな風に育ててほしいか、子育てしながら考えていること

●高橋(聖)さん 息子も歩けるようになってきたので、農作業の際、外に一緒に連れ出しています。土や水をかきまわしたり、葉っぱを拾って食べていたりしています。安全性は保ちながら森や自然の中に子どもを置くだけでも子どもはイマジネーションを膨らませて遊び、あまり過保護や過干渉になっても良くないかなと最近 생각합니다。

○司会 パパは子育てにどう関わっていますか。

●高橋(拓)さん サラリーマンなので、

平日の日は家にいません。仕事は土日が休みなので、妻が農作業したいときに私が代わりに子守をしています。平日家にいる時間が短いので、子どもといる時間をなるべく増やして、成長を見守りたいと思っています。

●高橋(聖)さん 息子が成人して結婚したとき、共稼ぎは当たり前だし、奥さんに迷惑をかけないように育てていきたいと思っています。ただただ料理が出てくるのを待っている人にならないように育てたいと思っています。

●川村さん 私は、近いところでお母さんたちが働ける場がほしいと考えています。子どもが生まれると、生活が子ども中心になると思うので、子育てをしながら働ける環境があるといいのではないかと思います。

○司会 町長に伺います。働く場の話が出ましたが、いかがですか。特にオカールができてから町に対する認識が変わって、随分注目が集まっていると思います。「働く場のある町 紫波町」という認識として町外に広まっているのではないかと思います。

●熊谷町長 私たちが子育てをした時代とは、女性の働く場の質が変わってきています。大企業を誘致

することは、現実を言えばなかなか難しいです。しかし、さまざまな企業からの問い合わせは来ているので、できるだけ希望している企業が来ることができるよう、受け皿づくりを進めています。

●小原さん 子どもがどんな風に育ててほしいかということですが、「これが得意だ」「これが好きだ」というものをまずは一番大事にして育ててほしいと思います。

子どもは褒め合つのが上手で、「かっこいい」とか「走るのが速いね」とか、子ども



も同士で寝め合いながら、育ち合っていますよね。

卒園児を見てみると、楽しかったことや得意だったことが将来的には生かされていたり、自分の記憶に残っていたりすると感じます。

●川村さん やってみて分かることって結構あると思います。自分の視野を広げるために、「友達がやっているからやってみる」でもいいと思います。片寄小学校は人数が少ないのですが、大人の学校より少人数の学校の方が多くのことを経験できるように思います。

陸上や水泳記録会に、片寄小学校はみんな選手として出なければいけないですよ。5・6年生になってくると「みんなで頑張ろう」という意識が出てくるので、少人数のいいところはそういうところかなと思いますね。

●高橋(久)さん 町には地域行事がたくさんあるので、伝統文化を大事にしてほしいです。私が住んでいる上平沢地区では舟こ流しや山車、裸参りという行事を毎年行っています。小・中高生も多く参加してくれていますが、もっとたくさんの方々に参加してもらえたらいいです。山車(秋祭り)のときは学校が授業を半日にするよう配慮してくれているようですが、1日休みにしていたら、祭りに参加する子どもたちも

増えると思います。

地域行事に子どもたちから参加している人たちは、大学生や社会人になっても参加してくれることが多い気がします。町を離れていても、「地域行事のときは必ず里帰りする町」になったらうれしいですね。

●鈴木さん 今の小学生たちを見てみると、すごく真面目で発表とかも立派で、いい子たちばかりだなと思うんですけど、中学校に進んだときに学校に行けない子がいるようです。

「チームあかいし」でも話題になっていて、何かできることがあるのではないかと考えています。いろいろな体験をすることで生きる力を身に付けていくんじゃないか、学校以外の地域の人たちと関わる機会を増やすことで、親が安心して子どもを送り出したり、顔見知りになることで子どもたちが自分から挨拶したりできるような関係ができるんじゃないかと話しています。

●阿部さん 子ども3人を見ていると、同じ親から生まれてもみんな違うので、自分の好きなことを伸ばしていければいいなと思います。できないことができるようにすることもあれば、できることをもっと伸ばしてあげたいなと思います。

子どもを保育施設に預けるとき、た



くさんの子どもがいるところに預けた方がいかなと思っただですが、小さいところだと子どもたちもお母さん同士も仲がいいし、小規模には小規模の良さがあるなと感じています。

●**樋澤さん** 個人的に、子どもにはプロのサッカー選手になってもらいたいなと思っています(笑)。サン・レージュ紫波でフットサルをやっている、一緒にボールを蹴っています。いろいろな経験や体験をさせて、やってみたいことや「得意だな」と思うところを見つけてもらいたいと思っています。

さまざまな世代との交流も大事ですね。町には地域の活動とか交流の場がいっぱいあるので、なるべく参加しています。人に優しい思いやりのある子に育ってほしいと思います。

町での子育て・子育てに望むこと

○**司会** 自分が子育てして変わったことはありますか。

●**樋澤さん** 親になってから、今まで育ててくれた家族や地域の方々に対する感謝の気持ちを、より持つようになりました。

●**高橋(望)さん** 私が小さい頃からすでに佐比内小学校は人数が少なく、少

子化は始まっていたし、いまさら何で私たちの世代だけ?という気もします。

小規模校は小規模校でいいと思いますが、小さいうちはいろんな子と触れ合えるように、学校同士の交流などがもっとあってもいいのかなと思います。

私は運動が苦手だったので、苦手なのに陸上や水泳などの大会に向けた練習をさせられるのが本当に嫌で、「何で私たちは苦手なことも無理やりやらなきゃいけないの」「大きい学校では得意な子が大会に出て、得意じゃない子は別に伸ばせる場所を伸ばしていけるのに、不公平だな」と感じながら小学校時代を過ごしました。

統合についてゆくゆくは考えていってもいいんじゃないかと思っています。小中一貫校とか。大人の都合で子どもを地域に閉じ込めるのではなく、「君はどこでも行ける!帰ってくる場所は紫波町なんだよ」といえるように育ていきたいです。

●**高橋(拓)さん** 子どものやりたいこと、興味のあることをサポートしていきたいです。

近くに子どもがいないので、地域だけにいると知っている子としか触れ合えませんが、子どもだけではなく、さまざまな人と触れ合える場をもっとつくってほしいんじゃないかと思



ます。

○**司会** 環境づくりとしては、どのような考えがありますか。

●**高橋(望)さん** さまざまな人と関われる場として、オガールを使ってもいいと思います。たとえば外国人だったり、障害者の人だったり、いろいろな人と小さいうちから触れ合える環境があるといいですね。

最近、社会福祉協議会が行っている「いこいの家」に行きました。いこいの家は高齢者が孤立しないことなどを目的に行われていて、血圧を測ったり、健康診断をしたりできる場所なのですが、そこに子どもを連れていったんです。保健師さんに子どもの相談ができるし、私も

血圧測ってもらえるし、いいなあって思いました。

いこいの家は高齢者が使う事業かもしれないけど、保健師さんは「ゆりかごから墓場まで」トータルで見てください、それは良いなと感じました。

○**司会** 町長、最後にご感想をお願いします。

●**熊谷町長** 皆さん、子育て真っ最中で、これが一つの幸せなんです。子育ての苦しみ、やがて喜びが変わるときが絶対に来ます。

町の子どもたちには、「健康な体」と「どんなところに行ってもやっていける精神力」を付けてもらいたいです。これさえあれば、海外に行っても、世の中がどんな変わっていても、そこに対応できるはずなんです。これらの力が育まれる土壌を整えることが私の役目かなと思っています。

○**司会** 本日は、皆さんからたくさんのお話を伺うことができました。ありがとうございました。





「想いをかたちに」 平成29年度の地域づくり活動補助金 事業提案を募集します

地域づくり活動補助金は、地域の活性化や課題解決のために継続的に活動する団体を支援するものです。来年度の事業提案を受け付けますので、提案を検討する団体はお早めにご相談ください。

※この補助金は平成29年度予算の成立が前提です。今後、内容などが変更になることもありますので、ご了承ください。

■補助金の概要

(1)対象団体

特定非営利活動法人または営利を目的としない任意の市民活動団体で、次の5点全てに該当する団体。

- ①5人以上で構成されている団体
- ②団体の所在地が町内にあり、主として町内で公益事業を行う団体
- ③事業計画および収支を示し、計画的に事業を実施する団体
- ④特定の宗教、政治活動および選挙活動を目的としない団体
- ⑤公序良俗に反しない団体

(2)補助金の内容

- ①スタートアップ補助金
団体の組織づくりや研修などに要する費用（上限10万円）
- ②ステップアップ補助金
活動の拡充や新規事業に取り組むための費用（上限30万円）

■提案受付期間 2月6日(月)～3月3日(金)

■公開事業提案会

- ・日時 3月25日(土) 午後1時30分～
- ・会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ

公開事業提案会の公募審査員を募集します

- ◆募集人数 2人
- ◆申込 3月3日(金)までに企画課 協働広報室に申し込みください。

■問合せ (相談、提案書の取り寄せ)

企画課 協働広報室 ☎672-2111 内線2320
ゆいっとサロン ☎676-2468(火・木・土 午後1時～6時)

本年度行う市民参加案件の追加分をお知らせします

町は、市民参加条例に基づき、市民と行政が協働でまちづくりを行うために、政策形成の過程において皆様のご意見を聞く機会を設けています。平成28年度の市民参加の実施予定に、右記の案件が追加になりました。

市民参加する事項	市民参加の方法 (審議会などは名称)	実施予定時期	担当部署
農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	意見交換会	1/23 1/24 1/25	農林課
	意見公募	1/5～26	
	農政審議会	2月	
勤労青少年ホームの廃止について	意見交換会	2月	生涯学習課
	意見公募	1～2月	
	社会教育委員会議	平成28年12月 (実施済)	

スポット ニュース

復興庁の今村大臣が オガール地区を視察

復興庁の今村雅弘大臣が11月23日、オガール地区を視察に訪れました。大臣は、オガールプロジェクトの概要について説明を受けた後、図書館や役場庁舎、エネルギーステーションなどを見学。視察後には「全国のモデルとなるようこれからも努力を続けてください」と激励の言葉をいただきました。



握手を交わした今村大臣(左)と熊谷町長(右)

民生児童委員の役割ってなに？

民生児童委員は、地域の皆さんの立場に立って相談に応じ、福祉制度や子育て支援のサービスなどが受けられるよう住民と役場や専門機関をつなぐパイプ役です。また、民生児童委員の中で、特に児童福祉に関する事項を専門に担当する主任児童委員は、地域の児童福祉に関する機関との連携を図り、児童福祉の増進のために活動しています。

◎ 民生児童委員の役割

- 1 住民の生活状態の把握
 - 2 生活に関する相談・助言・援助
 - 3 福祉サービス利用の情報提供
 - 4 社会福祉事業または活動の支援
 - 5 関係行政機関への協力
- ◎ 主任児童委員の役割
- 1 児童の福祉に関する機関との連絡調整
 - 2 民生児童委員の活動に対する援助および協力

地域の皆さんの質問や声

より円滑な民生委員活動が推進され、地域の福祉が向上するには、地域の皆さんの理解が不可欠です。委員活動に関する質問や声をいくつか紹介します。

◎ 給料が出るの？

民生児童委員・主任児童委員の皆さんは、年間平均100日以上活動しているという実績がありますが、そのことに対する給料は出ません。通信費や交通費、資料代、研修費などの活動に対する費用として、町から年間平均5万8500円が支給されています。

◎ 秘密を守る義務があります

民生児童委員・主任児童委員の皆さんには、活動上知り得た情報について守秘義務が課せられています。この守秘義務は、委員退任後も引き続き課されます。



私の地区の民生児童委員さんは、全然訪問に来てくれない。



私の地区では「お元気ですか」と何度も訪問してくれてありがたいけど、少しわずらわしい。

感じ方は人それぞれですが、プライバシー意識の高まりから、委員自身も、訪問の加減やタイミングに悩んでいます。地域の皆さんからも『自分』を発信するようにしましょう。

民生児童委員には、住民の生活実態を必要に応じ適切に把握する役目があります。しかし、受け持りの世帯数が200世帯を超える地区もあり、委員が地区の実態の全てを把握することはできません。地域の皆さんが、地域とのつながりを築いていく中で「悩んでいる人」や「気になる人」などに気付いたら、民生委員につながるような地域であることが望ましくです。



委員さんに相談したけれど、解決にならなかった…。

民生児童委員には、地域の人々の相談に応じ、助言やその他の援助を行う役目があります。これは、問題を解決したり、答えを出したりするということではなく、行政や専門機関につなげるということです。



前の民生児童委員さんは、草取りをしてくれたり、病院まで車で送ってくれたりしたけど、今度の人はやってくれない…。

民生児童委員の職務に草取りや病院への送迎などはありません。この場合は、日頃の良好な近所付き合いの延長で行ったものだと思います。お互いが助けたり、助けられたりできるのは、日頃からの良い近所付き合いの関係があってことです。

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れている今の社会では、孤独死や虐待などの悲しい事件が後を絶ちません。私たち一人一人が「つながりづくり」の主役です。民生児童委員と連携したり、地域の皆さんと協力したりしながら、みんなで支えあいの絆を深めましょう。

【問合せ】 町民福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1220

催し

**今、環境を考える講座
「山と里の折り合い」**

町の自然を守りながらシカやクマなどの動物たちと共存していくにはどのような暮らしをいけばよいかなどについて、お話を伺います。

参加無料 申込不要

日時 1月24日(火) 午後2時～3時

会場 ラ・フランス温泉館 交流プラザ

講師 岩手県猟友会会員 村井直衛さん
※送迎バスを運行します。(紫波中央駅を午後1時30分出発 利用する人は1月18日(水)までに申し込みください。)

問合せ NPO法人紫波みらい研究所

☎(671)2244

FAX(671)2243

**出張・介護予防講座
「転ばん教室」**

いつまでも元氣はつらつに年を重ねていくため、体操を中心に介護予防のポイントを学ぶ教室です。公民館と共催で、今回は志和地区と日詰地区で開催します。各公民館に申し込みの上、ご参加ください。

日程・会場 (各4回)

- ・1月31日、2月7・14・21日(いずれも火曜日) 志和公民館
- ・2月9・16・23日、3月2日(いずれも木曜日) 中央公民館

時間 午後1時30分～3時30分

受講料 1回200円
対象・定員 65歳以上の人 15人
(介護認定者は除く)

内容

- ・シルバリーハビリ体操
- ・介護予防に関する講話

申込・問合せ

志和公民館 ☎(671)7112
日詰公民館 ☎(671)1642
長寿健康課 高齢者支援室
☎(672)2111 内線1321

**リフレッシュ
ニュースポーツ教室**

運動不足や雪かきなどで凝り固まった体を、ストレッチとニュースポーツで楽しみながらほぐしませんか。第1回(2月2日)はスポーツ吹き矢に挑戦します。

日時 2月2日(木)・16日(木)、3月2日(木)(全3回) 午前10時～11時30分

会場 水分公民館

参加費 110円(吹き矢マウスピース代)

持ち物 タオル、飲み物、運動靴

定員 15人

申込・問合せ 1月26日(木)まで

水分公民館 ☎(673)8222
有線(02)35224

**元氣はつらつメンバー養成講座
エクササイズコース**

自分の健康は自分でつくる。と自ら健康づくりに取り組んでいる皆さん、冬場の運動不足を解消したい皆さん、一緒にエクササイズしませんか。

の運動不足を解消したい皆さん、一緒にエクササイズしませんか。

日時 2月3日(金)・6日(月)・10日(金)・13日(月)・17日(金)・20日(月)・24日(金)・27日(月)、3月3日(金)・6日(月)(全10回) 午前10時30分～正午

会場 役場1階はつらつホール

内容 エアロビクス、ジャズ体操、足つぼ体操、ロコモティブシンドローム予防体操、3B体操

定員 先着30人

受講料 1020円(10回分)

持ち物 室内用運動靴(靴裏が白または茶色のもの)、飲み物、汗拭きタオル

申込・問合せ 1月16日(月)から受け付け開始 長寿健康課 健康推進室

☎(672)2111 内線1344

森のようちえん「りんくる」

お子さんと野山あそびをしながら、ふわふわつある里山の自然や生き物を探してみませんか。

日時 2月5日(日) 午前10時～午後1時

会場 彦部地区 大正園

参加費 500円(おやつ代など)

定員 先着10組の親子

服装・持ち物 雪の中を歩ける服装、お弁当、飲み物、帽子、手袋など

申込・問合せ 1月31日(火)までに電話またはファクシミリで申し込みください。申し込み後に集合場所などの詳細をご案内します。

NPO法人紫波みらい研究所
☎(671)2244
FAX(671)2243

観光案内ボランティア養成講座受講者募集

町内の文化遺産、自然環境、特産品などの観光資源を理解し、観光客に町の魅力を伝える観光ボランティアを養成するための講座です。どなたでも受講できます。

日時 1月22日(日)・29日(日)、2月5日(日) 午後1時30分～4時30分

会場 役場3階 会議室301

受講料 100円(資料代)

申込・問合せ 1月16日(月)まで
※締め切り終了後は要相談
(一社)紫波町観光交流協会
☎676-4477

細をご案内します。

NPO法人紫波みらい研究所
☎(671)2244
FAX(671)2243

**いわて親子・家庭フォーラム
「家庭・地域で考える子育て」**

家庭と地域で行う子育ての問題について、それぞれのテーマに沿って講師と一緒に考えます。申し込みの上、ご参加ください。

日時 2月11日(土)祝 午後1時30分～4時15分

会場 情報交流館2階 大スタジオ他

内容

- ・分科会 ①「いじめ問題」②「ネット・スマホ問題」③「就学前問題」(小1プロブレムを中心に)
- ・全体会 工藤和子さん(声楽家)いわて子どもの心研究懇話会事務局 長(の)ミニコンサート「歌とお話し」

参加無料

ンサート〜先人の童謡にこめた願い
〜、分科会の報告

■対象 就学前から高校生までの子ども
を持つ保護者、教育・福祉関係者、子育て
支援関係者

■申込・問合せ 1月31日(火)まで
生涯学習課 学習推進室

☎(672)2111 内線3123

募集

市民参加

**新しい紫波町食育推進計画・
地産地消促進計画へのご意見を
募集します**

町は、町食育推進計画と地産地消促進
計画を一体化した新しい計画を策定しま
す。この計画案について、皆さんのご意見
をお寄せください。

■募集期間 1月16日(月)〜2月5日(日)

■閲覧場所 地区公民館、農林課、ゆいっ
とサロン、町のホームページ、ホーム
ページ「紫波の食ナビ」([http://www.
made-in-shiwa-agri.jp](http://www.made-in-shiwa-agri.jp))

■意見提出方法 住所、氏名、年齢、電話番
号を明記の上、持参または郵送、フアクシ
ミリ、電子メール、紫波の食ナビへの書
き込みのいずれかの方法で提出してくだ
さい。

■提出先 問合せ 農林課 農業振興室

☎(672)2111 内線2241
FAX (672)2311

shiwainfo@gmail.com
T:0268-3300
紫波町紫波中央駅前2-13-1

相談

**年金及び給与所得者の
還付申告相談会**

年金受給者や給与所得者で、医療費控
除など還付申告をする人を対象とした税
理士による還付申告書作成指導・相談会
が行われます。

相談無料 申込不要

■日時 2月4日(土)、5日(日)

午前10時〜午後4時

※受け付けは午後3時まで

■会場 Nana(なな) 7階ホール
(盛岡市中ノ橋通1-6-8)

■問合せ 東北税理士会 盛岡支部(石手
県税理士会館内) ☎(622)5160

確定申告期の無料税務相談

税理士による確定申告期の無料税務
相談会です。申し込みの上、お出かけ
ください。

■日時 1月30日(月)〜3月10日(金)

※土日祝日を除く

午後1時30分〜4時30分

■会場 岩手県税理士会館(盛岡市大沢
川原3-7-3)

■申込・問合せ 申し込みは相談希望日
の1カ月前から受け付け

東北税理士会 盛岡支部(岩手県税理士
会館内) ☎(622)5160

お知らせ

**行政嘱託員の
採用試験を行います**

町の一般行政事務に従事する行政嘱託
員(非常勤)の採用試験を、次の日程で行
います。

■応募資格 高校以上を卒業(3月卒業
見込を含む)した60歳未満の人

■採用予定人数 若干名

■勤務条件 任期は平成29年4月1日か
ら1年以内(ただし、再任することがあ
ります)勤務時間は週33時間45分以内。

報酬は、経験などによって決定。

■試験日・会場 2月9日(木) 紫波町役場

■試験内容 作文と面接により選考

■申込 総務課人事室で配布する申込書
類に必要事項を記入し、2月3日(金)
正午までに提出してください。

■問合せ 総務課人事室

☎(672)2111 内線2353

町の人事

町は1月1日、職員の人事異
動を発令しました。

【主査級】

- ・産業部 農林課 主査
藤原 昌広[前任:産業部農林
課農政企画主査]
- ・産業部 農林課 主査
小田中 琢志[前任:教育部国
体推進課主査]

岩手県台風10号大雨等災害義援金 ご協力ありがとうございました

昨年8月に発生した台風10号による災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社が協力を呼びかけている「岩手県台風10号大雨等災害義援金」に対し、町内の皆さんから寄付をいただきました。

お寄せいただいた義援金は、県に設置された義援金配分委員会を通じて、全額が被災された方々に届けられます。

○赤石小学校児童会 2万5733円

※敬称略(昨年12月9日までの受け付け分)

■問合せ 日赤紫波町分区分事務局(町民福祉課
福祉推進室内)

☎672-2111 内線1221

特別整理期間のため休館します 2月7日(火)〜10日(金)

図書館は、年1回の蔵書点検のため、2月7日から10日まで休館します。(学習室は利用可)皆様のご理解とご協力をお願いします。

- ・6日(月)は情報交流館休館日のため休館します。
- ・休館中の本の返却(CD・DVD以外)は、ブックポストをお願いします。

サイエンスおはなし会「森の工作」

■日時 2月5日(日) 午前10時30分〜正午

■会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ

■対象・定員 小学1〜6年生 20人

■講師 環境学習交流センタースタッフ

■申込・問合せ 1月17日(火)から図書館カウンター
または電話で申し込みを受け付けます。

紫波町図書館 ☎671-3746



体育協会からのお知らせ

施設紹介



幼児室

総合体育館の幼児室には、就学前の幼児が楽しく体を動かすことができる遊具がたくさんあります。運動不足になりがちな冬期間は、幼児室で元気に体を動かしながら遊んでみませんか。

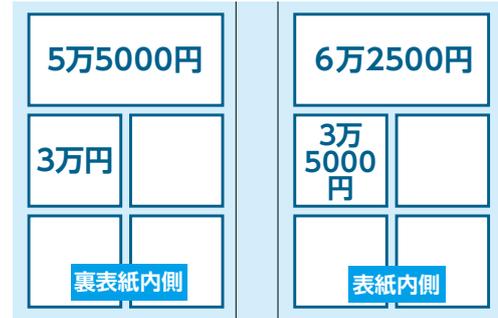
- 使用料**(暖房料込、2時間まで) 100円
※町外在住者は300円/大人1人(子どもは無料)
- 利用時間** 午前9時～午後9時
- 問合せ** (一財)紫波町体育協会 ☎676-2650

『紫波ネットつづり表紙』に広告を掲載しませんか



背表紙 1万円

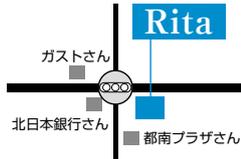
※裏表紙に広告掲載する人のみ掲載可



町の広報紙『紫波ネット』を2年間分つづることができる「つづり表紙」に、広告を掲載していただけるスポンサーを募集します。このつづり表紙は、4月中旬に町内全世帯へ配布予定です。料金(税抜)は、上図のとおりです。詳しくは問い合わせください。※掲載位置は申請の順番やレイアウトを考慮した上で決定しますので、希望に添えない場合があります。

- 申込・問合せ** 1月18日(水)から2月3日(金)まで
企画課 協働広報室 ☎672-2111 内線2322
✉shiwa.info@gmail.com

相続税の事なら何でも お気軽にご相談下さい



Rita 税理士法人
Rita Tax accountant office

代表社員税理士 和田 孝仁
代表社員税理士 岩井 直樹
税理士 小塚 光政

住所 盛岡市津志田13-2-7 電話 019-681-7311
ホームページ <http://ritazeirishihoujin.tkenf.com/>

ラ・フランス温泉館 元気はつらつ割

～ラ・フランス温泉館は、紫波町内の
元気な高齢者を応援します～
入湯料700円→500円



【対象者】紫波町内の65歳以上の方
※免許書、保険証などの身分証明書を持参ください。

紫波ネット限定

入湯料金割引サービスのご案内

ご自宅に届いたこの広報紙面をご持参ください

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <p>1 大人一名あたり
入湯料500円
※1枚につき
2名様まで有効</p> | <p>2 入湯回数券
(5回券)が
2,500円</p> |
|---|--------------------------------------|

有効期日 2017年3月30日

※各割引サービスは1回限りとさせていただきます。

お問い合わせ ☎019-673-8555 FAX 019-673-8556
紫波町小屋敷新在家90番地 ハダカのおつきあいで一家だんらん。
La France ラ・フランス温泉館
ラ・フランス温泉館 検索 URL <http://www.lafrance.co.jp/>

こずかた診療所

内科・リハビリテーション科

- 診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30
- 受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00
- 休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

- 施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
- 利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン

あけましておめでとうございます
今年も自園自醸ワイン紫波を
よろしくお祈りします



紫波ワイン 検索

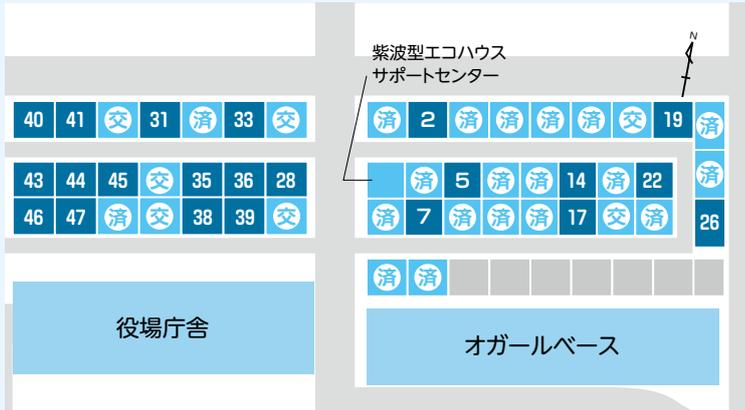
(株)紫波フルーツパーク ☎019-676-5301

紫波町遠山字松原1-11 道の駅紫波200m奥 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/top.html>

紫波ネット広告を募集しています

■掲載料 1枠1万800円(税込み) ■申込・問合せ 企画課 協働広報室
☎672-2111 内線2322 ✉shiwa.info@gmail.com

「オガールタウン日詰二十一区」分譲中!



紫波中央駅前の「オガールタウン日詰二十一区」の分譲状況は左図のとおりです。「今年こそ家づくりを検討してみよう」と考えている人は、気軽に問い合わせください。

また、モデルハウスを兼ねる紫波型エコハウスサポートセンターでは宿泊体験を実施しています。宿泊体験の詳細は『紫波ネット12月おしらせ版No.948』のP1をご覧ください。寒い時期にこそ実感できる紫波型エコハウスの良さを、この機会に体験してみませんか。

- 済 → 契約済みの区画
- 交 → 検討中のお客さまがいる区画

■オガールタウンに関する問合せ 企画課 公民連携室 ☎672-2111 内線2291
 ■宿泊体験に関する問合せ 環境課 循環政策室 ☎672-2111 内線2250

中央葬祭センター シンセラホール紫波

「しらゆり会員」募集中

特典

- 生花・盛籠(各種)1,000円割引
※税込21,000円以上の商品に限らせていただきます。
- 祭壇貸出料20%割引
- 通夜室使用料20%割引
- 仏具展示品10%割引
- 引き出物、返礼品10%割引

入会金 10,000円

中央葬祭センター「シンセラホール紫波」
 岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
 ☎676-7676 FAX676-4404

紫波町のキッズ英会話スタジオ

ハワード・イングリッシュ・クラブ

オガールセンターに
1月7日(土)
オープン!

無料体験クラス実施中!

電話 **019-601-8585**

ハワードイングリッシュ [検索](#)

利用していない土地・建物がある 処分したいがどれ位になるものか

お気軽にご相談ください【相談無料】

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員

不動産のことなら (株)プラス不動産サービス

〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)

☎019-671-2161 [プラス不動産サービス](#) [検索](#)

医療保険適用 * 在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

- ・歩行が困難な方
- ・身体にマヒがある方、不自由がある方
- ・車椅子使用の方など…

お気軽にお電話ください。

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

ご利用につきましては、ご加入していただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
 盛岡市三本柳10地割17-53
 TEL.フリーダイヤル ☎0120-213-222

雪道に最適な度付き偏光メガネ 驚きの視界 HOYA POLATECH!

紫波中央駅前オガールプラザ東棟
 紫波中央眼科様隣に
 支店を開設いたしました

当店には
 認定眼鏡士が
 在籍しております。

眼科処方箋承ります

鏡形率次のあるさと紫波町のメガネ店
眼鏡屋 目明かし堂
 オガール店☎672-5572 日詰店☎676-2838

目明かし堂 [検索](#)
 www.meakashi.com
 有限会社 佐藤時計店

相心館 ゆう 美容室

新春サービス 実施中

素敵な自分探しをお手伝いさせていただきます
 今年も1年間応援よろしくお祈いします

メール会員になると、もっとお得な情報がゲットできます。
 携帯・スマホからアクセス!「QR画面」表示してください。

美容師募集いたします

[月・第3日曜定休日]1月16日・23日・30日
 2月6日・13日・19日・20日・27日
 〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL019-676-5825
 http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
 E-mail yu@posh.jp **OPEN 8:45 CLOSE 18:30**

スポット ニュース

火災被害の 拡大防止に貢献 一中生に感謝状贈呈

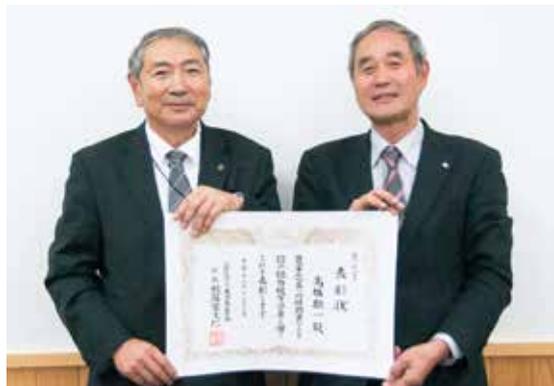


熊谷町長(中央)から感謝状を受け取った(左から)佐々木さん、平野さん、八島さん、山田さん

町は10月13日、災害現場功労者として紫波第一中学校の生徒4人に感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取ったのは3年生の佐々木智貴さん、平野達也さん、八島紘輔さん、山田新さん。4人は9月12日、車両火災に遭遇した際、車両に乗車していた運転手に火災を伝えるとともに、車の荷台に積まれていた可燃物を火災車両から隔離し延焼を防止。併せて近隣の店舗に行き、消防署への通報を依頼しました。山田さんは「1人ではこういった行動はとれなかったと思います」と振り返り、佐々木さんは「感謝状をいただくことができてうれしいです。人を助けるような職業に就きたいと思いました」と話しました。

高橋勘一さんが農事功績表彰 緑白綬有功賞を受賞

赤石地区の高橋勘一さん(69歳)は11月17日、(公社)大日本農会が実施する平成28年度農事功績表彰の緑白綬有功賞を受賞しました。就農して以来、水稻もち栽培と牛繁殖の複合経営を行う高橋さんは、さまざまな努力によりもちの優良種子の安定生産を実現したほか、繁殖経営では1年1産に向けた飼養管理を徹底。また、JAいわて中央の水稻もち種子生産部会長を平成2年の設立当初から務め、集積された農地などでの優良種子生産に貢献した功績などが認められました。高橋さんは「このような賞を受賞することができ、感無量です。これからも部会員の皆さんと連携を密にして、もちの優良種子の生産に努めたいです」と決意を新たにしていました。



熊谷町長に受賞を報告した高橋さん(左)(11月25日)

藤井秀男さんが防犯栄誉 金章を受章



熊谷町長に「現在の楽しみは、通学する子どもたちと毎日大きな声であいさつを交わすこと」と話した藤井さん(左)

佐比内地区の藤井秀男さん(83歳)は、長年の地域安全活動をおして、安全で安心なまちづくりに貢献した功績が認められ、9月29日に警察庁長官と全国防犯協会連合会長から防犯栄誉金章を授与されました。昭和60年に佐比内地区防犯協会を発足させ、平成9年には県内初となる「学童安全連絡所(子ども110番の家)」を設置したほか、地域の歴代の駐在所と協力して防犯ポスターや作文コンクール、防犯わんぱく相撲大会などの啓発活動を実施。児童が安心して登下校できる環境整備や子どもの健全育成に貢献しています。藤井さんは、10月25日に熊谷町長を訪問し、受章を報告。報告を受けた町長は「佐比内地区で行われている盛んな防犯活動は、藤井さんのリーダーシップの賜物と敬意を表しました。藤井さんは「駐在所をはじめ、警察や地域の方々の協力があって、現在の活動につながっています」と周囲の協力を感謝していました。

調べるちからは 生きるちからは

第2回「紫波町図書館調べる学習コンクール」の
入賞者をお知らせします



賞状を手に、喜びの笑顔を見せる子どもたち

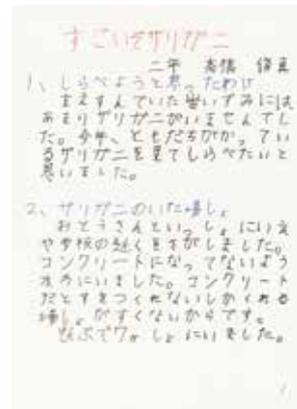
第2回「紫波町図書館調べる学習コンクール」の表彰式は12月3日、図書館で開催されました。このコンクールは、子どもたちが自ら課題を発見し、その課題を解決する力を身に付けるきっかけにしてみようという企画したもの。今回は、町内外の小学生から40点の作品が寄せられ、審査の結果、次の皆さんが入賞者に決まりました。また、町長賞を受賞した作品のうち、2作品は全国コンクールに出品されます。

【第2回紫波町図書館調べる学習コンクール入賞者】 (賞・学校・学年・氏名・題名/敬称略)

《低学年の部》

《町長賞》

赤石小学校 2年 高橋 脩真
「ほんごぞざりがに」



《中学年の部》

《町長賞》

彦部小学校 4年 森田 結子
「こちらジャガイモ百科店 世界で愛されるひみつ見つけたよ」



《教育長賞》

古館小学校 3年 小笠原 穂
「牛からできた牛にゅうがわたしになるまで」

《図書館長賞》

日詰小学校 3年 梅澤 太一
「F1用タイヤのなぞ」

《審査員特別賞・奨励賞》

上平沢小学校 3年 北條 想達
「クモの研究」

《高学年の部》

《町長賞》

彦部小学校 6年 森田 開
「地方消滅はありえないーぼくの町は紫あ波せの町!!」



《教育長賞》

日詰小学校 6年 梅澤 萌
「命をつなぐ血液のはたらき」

《図書館長賞》

桜台小学校 5年 町田 歩優
「秋田県のおのさき海岸と右だて海岸の貝たち」



入賞作品のレプリカを図書館内に展示しています。手に取ってご覧ください。



健やかランド紫波

健康と福祉の情報コーナー

【問合せ】岩手県赤十字血液センター ☎637-7201 / 長寿健康課 健康推進室 ☎672-2111 内線1347

400ml献血にご協力をお願いします！ ～40分で助かる命がある～



献血推進キャラクター
けんけつちゃん

血液の比重は、体調・時間帯・睡眠時
間・栄養バランスなど
で変動します。睡眠を
十分にとり、栄養バラ
ンスのよい食事を心
掛けましょう。

せつかく献血に訪れた人でも、「比重
不足」で献血できなかったという場合が
あります。これは、主に血液中のヘモグ
ロビンの濃度が献血をするための基準
に足りなかった、ということになります。
(※献血基準値が高く設定されている
ため、必ずしも貧血というわけではあ
りません)
ヘモグロビンは全身に酸素を運ぶ重
要な役割を果たしており、不足すると
頭が重く感じる、立ちくらみ、めまい、
少し動いただけで動悸がするなどの症
状が出ます。爪に横の線が入る、下まぶ
たの裏が白いなどの場合は注意が必要
です。

◎血液の比重とは？

あなたの大切な人が病気や事故、けがで輸血が必要になったとき、輸血用の血液が足りず、助
かるはずの命が助からなくなってしまう場合を想像してみてください。
血液には「人工的に造ることや長期間の保存ができない」という特徴があるため、健康な人の血
液を安定的に確保する必要があります。そのため、健康な人の血が絶えず必要になります。
献血は受け付けから終了までに必要な時間が約40分で、実際に針を刺している時間は約5分
～15分です。(※成分献血に必要な時間は約90分)
少しの時間で誰かの命を救うことができるボランティア「献血」に、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

〈赤血球の生成に必要な栄養素を多く含む食品例〉

ビタミンC	ビタミンB12	葉酸	鉄分
パセリ、レモン、キ ウイ、ピーマン、イ チゴ、柿など	しじみ、あさり、す じこ、牛レバー、鶏 レバーなど	鶏レバー、ワカメ、 枝豆、モロヘイヤ、 ブロッコリー、カ ボチャなど	レバー、納豆、マグ ロ、ホウレン草、ひ じき、あさりなど

◎鉄分を積極的に取りましょう

赤血球の原料となる鉄分は、一度に
たくさん摂取しても体の中のためにためてお
くことができませぬ。
毎日の食事の中に、鉄分が多く含ま
れるものを一品加えてみましょう。
鉄分を効率よく取るには、鉄分の吸
収を助ける葉酸やビタミンC、ビタミン
B12と一緒に取ることが重要です。

◎献血をするには？

献血バス「まごころ号」が月に約1
回のペースで町に来ます。毎月の献血
日程は毎月第4水曜日に発行される
『紫波ネットおしらせ版』に掲載して
います。

◎今後の献血日程

- ① 1月30日(月)
午前9時30分～11時 紫波警察署
午後2時30分～4時30分 ユニバー
ス紫波店
- ② 2月15日(水)
午前9時30分～午後4時 紫波町
役場

(※うち午前11時
～午後1時の間
は受け付け休止)



【担当】町民福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1222

自立支援医療（精神通院医療） を「ご存じですか？」



精神疾患によって、継続して通院治療を受ける場合、医療費の負担が多くなる場合があります。自立支援医療（精神通院医療）は、そのような方々の医療費の軽減を図るための制度です。

○対象となる人

- 精神疾患のため、通院による治療を続ける必要のある人が対象です。全ての精神疾患が対象となり、次のようなものが含まれます。
- ・統合失調症
 - ・うつ病・躁うつ病などの気分障害
 - ・不安障害
 - ・薬物などの精神作用物質による急性中毒またはその依存症
 - ・知的障害
 - ・発達障害
 - ・てんかん など

○医療費の軽減が受けられる医療の範囲

精神疾患や精神障害、またはそれが原因となって生じた症状に対して、病院や診療所に入院しないで行われる医療（外来、投薬、ドレークア、訪問看護）が対象です。

※次のような医療費は対象となりません。

- ・入院医療の費用
- ・公的医療保険が対象とならない治療、投薬などの費用（例：病院や診療所以外でのカウンセリング）
- ・精神疾患・精神障害と関係のない疾患の医療費

○医療費の自己負担は1割に

公的医療保険で3割の医療費を負担しているところを、1割に軽減します。

（例）かかった医療費が7000円、医療保険による自己負担が2100円の場合、本制度によって自己負担は700円になります。）

○申請手続き

- ・申請は町民福祉課窓口で受け付けています。
- ・申請が認められると、「受給者証（自立支援医療受給者証）」が交付されます。
- ・申請に必要な書類や持ち物がそれぞれ異なりますので、あらかじめ町民福祉課に問い合わせてください。

からだよろこぶヘルシーレシピ

カボチャのキーマカレー風あんかけ

材料（4人分）	カボチャ …… 200g	サラダ油 …… 少々	☆塩 …… 少々	片栗粉 …… 少々
	鶏ひき肉 …… 70g	水 …… 250cc	★ケチャップ …… 50g	野菜 …… 適宜
	シイタケ …… 1枚	☆顆粒だし…小さじ1	★カレー粉…小さじ1/2	(添え野菜として)
	玉ネギ …… 小1/4個	☆しょうゆ …小さじ1	★塩 …… 少々	
	すりおろしショウガ 少々	☆みりん …… 50cc	★しょうゆ … 少々	

- ①鍋に水と☆の調味料を入れて温める。
- ②カボチャを長さ5cm、幅7mmのくし型に切って加え、煮崩れしないように煮る。だし汁はあんを作るときにも使うので、残しておく。
- ③玉ネギ、シイタケはみじん切りにする。フライパンにサラダ油を入れ、玉ネギがしんなりするまで炒める。玉ネギがしんなりしたら、鶏ひき肉、シイタケ、すりおろしショウガを加えて炒め、★の調味料を入れて、味を調える。
- ④③に残しておいたカボチャの煮汁を100cc加えて片栗粉でとろみをつける。
- ⑤お皿にカボチャを盛り付け、上から④のあんをかけて、野菜を添えたら出来上がり。



町食生活改善推進員協議会
水分地区の皆さんの
レシピです

（写真は町食生活改善推進員協議会水分地区の皆さん）





紫波中央駅前を華やかに彩る イルミネーション点灯式



イルミネーションを背に美しい歌声を披露する
紫波一中合唱部の皆さん

「光のページェント安心の街灯り2016・紫あ波セルミエール」点灯式と年末年始地域安全運動出発式は12月15日、紫波中央駅のロータリーで行われました。紫あ波セルミエールは毎年1月に開催していた紫波冬まつりに代わるもので、関係者約100人が見守る中、例年より一層華やかになったイルミネーションが点灯。紫波第一中学校合唱部の生徒18人がクリスマスソングを披露した後、町防犯隊の高橋吉見隊長が「安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、地域安全活動へ出発します」と申告。関係者に見送られながら、各地域へパトロールに向かいました。イルミネーションは1月までの間、日没から午後10時まで点灯します。

美しい歌声響く 不來方高校音楽部 クリスマスコンサート

不來方高校音楽部クリスマスコンサートは12月18日、野村胡堂・あらえびす記念館で開かれました。ホールには、平成27・28年の全日本合唱コンクール全国大会で文部科学大臣賞を受賞した美しい歌声が響き渡り、来場した人々は大きな拍手を送っていました。また、中盤には彦部小学校の4～6年生19人と紫波第二中学校の生徒3人、彦部公民館のコーラスサークルの皆さんが『365日の紙飛行機』などの合唱を披露しました。彦部地区の佐藤とし子さんは「知っている歌がたくさんあり、楽しむことができました。不來方高校音楽部の合唱は初めて聞きましたが、とても感動しました」と満足の表情でした。



このコンサートは彦部地区教育振興運動実践協議会が主催し、今年で15回目の開催となりました

情報交流館の来館者が150万人を達成

平成24年6月にオープンした情報交流館の来館者が12月3日、150万人を達成しました。150万人目の来館者は、図書館に訪れた彦部小学校5年生の佐藤琴梨さんと3年生の百笑さん姉妹。琴梨さんは「図書館にはたくさんの本があって楽しいです」、百笑さんは「150万人目になってびっくりしました。月に1回は図書館に来て、お気に入りの名探偵の本を借りています」と笑顔でした。佐藤さん姉妹には、熊谷町長から産直「紫波マルシェ」の商品券が手渡されました。



熊谷町長(左)と一緒にくす玉を割った
琴梨さん(中央)、百笑さん(右)

「みんなで明るいお正月を」 歳末助け合い演芸会



町婦人会役員たちによる「水戸黄門再来町の巻」の一幕

町連合婦人会(瀬川智子会長)主催の第47回歳末助け合い演芸会は12月4日、中央公民館で開かれました。訪れた約400人は、同会各地区婦人会による踊りや劇のほか、ボランティアで出演した紫波童謡の会、町カラオケ同好会、町観光案内人しゃ・べる、健康サークルによる体操など盛りだくさんの発表を楽しんでいました。水分地区から訪れた菅川寛之さんは「初めて見に来ましたが、詐欺被害防止のための啓発なども交えていて、素晴らしい取り組みだと思います」と話していました。

記念すべき第50回 町芸術祭記念式典



芸術祭記念式典に参加した皆さん

部 門	賞 名	氏 名	部 門	賞 名	氏 名
俳句	芸術祭賞	福山美枝子	川柳	芸術祭賞	鷹 嘴 関 雄
	優秀賞	吉田睦詠		優秀賞	畠山 勇 子
	奨励賞	福山美枝子		奨励賞	水分小学校
短歌	芸術祭賞	高橋 茂	盆栽	芸術祭賞	佐藤 博
	優秀賞	赤川 秀子		優秀賞	藤原 隆夫
	奨励賞	佐々木さやか		奨励賞	神原 康彦

(敬称略)



「芸術や文化は、時には食べ物以上に大切なもの」と話した板垣さん

第50回紫波町芸術祭記念式典と記念講演が12月10日、情報交流館で開かれました。展示部門の受賞者に表彰状が手渡された後、芸術祭への長年の功績をたたえ、下脇良夫さん、藤原長悦さん、森田朋子さん、菊池一政さんに感謝状が手渡されました。

続く記念講演では、花巻市にある「るんびにい美術館」のアートディレクター板垣崇志さんが「みんなで創り、みんなで生きる」と題して講演。障害の有無に関わらず、人間にとって表現することがいかに大切かというお話に、参加した約100人は時折うなずきながら聞き入っていました。

芸術祭展示部門の受賞者は左表のとおりです。

町認定農業者連絡協議会が岩泉町へ町産米200kgを贈呈

町認定農業者連絡協議会(高橋^{かつし}淳会長)は12月1日、台風10号で甚大な被害を受けた岩泉町へ、町産のお米200kgを支援物資として届けました。「岩泉町では災害から3カ月以上経った今でも、多くの方々が避難所生活をしていることや精米所がほぼ全壊したことを聞きました。何か支援はできないかという思いから、会員の協力を得て、精米したお米を届けることになりました」と高橋会長。支援物資を受け取った岩泉町の担当職員からは「12月に入っても多くの方々が避難生活を送っている中、主食となるお米を届けていただき、とてもありがたいです」と感謝の言葉がありました。同会はこの他に、義援金を送る予定です。



高橋会長(左)から岩泉町教育委員会総括室長の三上さん(右)に支援物資が手渡されました



熊谷町長(右)と藤原副町長(右から2番目)に鏡餅を手渡した岩館則雄部会長(左)と北條金一志和支部長(左から2番目)

明るい新年を願い 町産の鏡餅贈呈

JAIいわて中央もち米生産部会紫波支部(岩館則雄部会長)は12月28日、町内の農家が生産したヒメノモチ100%の鏡餅を町に贈呈しました。鏡餅を受け取った熊谷町長は「皆さんが丹精込めて作ったもち米で、こんなにも大きな鏡餅を贈呈いただきありがとうございます」と感謝の気持ちを述べました。鏡餅は12月28日から1月6日まで役場庁舎の中央玄関付近に飾られ、新年の幕開けに花を添えました。

行って
みよう

めぐって学んで五感で
味わう紫波探訪

あたたかい人がいる、いこの場所がある。
見て、聞いて、学んで、知って、味わって。
五感で味わう紫波の魅力をご紹介します。

京都から平泉、そして紫波へ 義経の青春を描いた舞台を 見に行ってみよう

本番までおよそ2カ月となった12月19日、劇中の山場となるシーンの稽古を行う出演者たち。せりふや場面に合わせながら、立ち位置や所作などの確認が進みます



第6回紫波町民劇場「義経の春」

- 日時 2月26日(日)〈午前の部〉開演 午前10時 〈午後の部〉開演 午後2時
- 会場 中央公民館 集会室
- チケット 一般1200円(前売り1000円)・高校生以下700円(前売り500円)
※未就学児は入場できません。
- チケット取扱 ナックス、情報交流館、町内各地区公民館、産直センターあかさわ、紫波ふる里センター、古館産直センターグリーンハウス、産直めぐり志和、ルート396長岡、あづまね産直センター
- 問合せ 紫波町民劇場事務局(赤沢公民館内) ☎ 676-3036

第6回目となる紫波町民劇場が、2月26日(日)に中央公民館で開催されます。今回の演目は、赤沢地区に伝わる義経伝説を基にした「義経の春」。源義経が京都から平泉に逃れて過ごしたとされる、16歳から22歳までの青春時代を描きます。

町内から集まった総勢30人の出演者が、昨年9月から稽古を行っています。義経役には、紫波第三中学校2年の長谷川紗萌さん、他の主要キャストに、紫波総合高校2年の吉田美祥さん、工藤逸奎さんが抜てきされました。

脚本を担当した作家の澤口たまみさんは「義経にまつわる資料を調べるうちに、義経は本当に紫波にいたのではな

出演者のコメント

(左) 吉田美祥さん(紫波総合高2年)
「演劇は初めてです。せりふも多くプレッシャーが大きいです。町民劇場は刺激を受けることができ、楽しいです」

(中央) 長谷川紗萌さん(紫波三中2年)
「義経役に選ばれて、不安でしたがとてもうれしかったです。男性の役なので、声のトーンや姿勢などが難しいですが、頑張ります」

(右) 工藤逸奎さん(紫波総合高2年)
「義経の影武者になる山賊を演じます。若い人から年配の人まで楽しめるようなお芝居をしたいです」

